

製品名: CD108 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08188**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	75kDa

抗原情報

遺伝子名	SEMA7A
別名	SEMA7A; CD108; SEMAL; Semaphorin-7A; CDw108; JMH blood group antigen; John-Milton-Hargen human blood group Ag; Semaphorin-K1; Sema K1; Semaphorin-L; Sema L; CD antigen CD108
遺伝子 ID	8482.0
SwissProt ID	O75326
免疫原	CD108 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 150-230

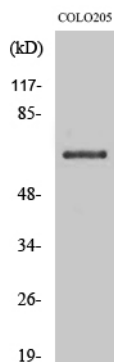
背景

この遺伝子はセマフォリンファミリータンパク質の一種をコードしています。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によって成熟したグリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) アンカー型膜糖タンパク質へと変換されます。コードされているタンパク質は活性化リンパ球および赤血球に存在し、免疫調節および神経プロセスに関与している可能性があります。コードされているタンパク質はジョン・ミルトン・ハーゲン (JMh) 血液型抗原を担っています。この遺伝子の変異は骨密度 (BMD) の低下と関連している可能性があります。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つはタンパク質分解によって処理されるアイソフォームをコードしています。 [RefSeq 提供、2016 年 2 月],機能:神経系および免疫機能の調節において重要な役割を果たす可能性があります。 ,オンライン情報:血液型抗原遺伝子変異データベース,類似性:セマフォリンファミリーに属します。 ,類似性:Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含みます。 ,類似性:PSI ドメインを 1 つ含みます。 ,類似性:Sema ドメインを 1 つ含みます。 ,組織特異性:胎盤、精巣、卵巣、脾臓、脳、脊髄、肺、心臓、副腎、リンパ節、胸腺、腸、腎臓で発現します。 ,

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



CD108 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析